白馬八方温泉は、槍ヶ岳の頂上付近のすぐ南にある蛇紋岩の地層を源流とするアルカリ性のシンプルな温泉です。槍ヶ岳は白馬三山の一峰です。日本で最もアルカリ性の強い温泉のひとつであり、無色透明のお湯のpHは11以上にのぼります。お湯には肌の余分なケラチンを落とす若返り効果があるので、柔らかくスベスベになります

東京工業大学地球生命研究所の調査により、白馬八方温泉のお湯に含まれるバクテリアの数が特に低いことが明らかになっています。さらに、お湯は地球深部のマントルを構成するかんらん岩と反応し、生命に必要とされる炭化水素を作り出します。地殻変動によりかんらん岩が地表や海底に露出すると、水と反応して蛇紋岩が形成されます。

このような温泉は非常に珍しいため、生命が生まれる前の原始地球に極めて近い環境なのではないかと考えられています。これにより、科学者が生命の起源について考察する上で重要な場所となっています。日本で最もアルカリ性の強い温泉に浸かり、生命の誕生について思いを馳せましょう。